

今週のセルグループ (赤字)		2月12日(日)~2月18日(土)	
セル	休講		
グレイス 鈴木千姉	2/17(金) 午後8:45	鈴木宅	2/3 5名
Gospel 鈴木尚姉	2/21(火) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	2/6 3名
オikos 磯貝姉		LINEで 分かち合い	2/5 7名
からし種 磯貝姉	2/16(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/26 4名
ユース 岩下兄	2/15(水) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/29 5名
Rock 鈴木洋兄	2/15(水) 午後8:30	鈴木宅	1/25 3名
シャローム 平岩姉	2/25(土) 午前10:00	平岩宅	1/28 4名
なつめやし 高橋智姉	2/19(日) 練習後	高橋宅	2/5 6名
リジョイス 杉本姉	2/21(火) 午前10:15	赤塚宅	1/24 5名
ジョイフル 穂苅兄	2/21(火) 午後9:30	Zoomで 分かち合い	2/5 9名
アガベ 長塚姉	2/12(日) 練習後	コミュニティ センター	1/22 4名
サクセス 鈴木勝兄	2/12(日) 礼拝後	交わり	1/29 8名
リーダーズ セル	3/8(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	2/8 23名
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	2/19(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	2/5 2名
worship 長塚寛兄	2/19(日) 礼拝後	長塚寛宅	1/29 5名
高校生 平岩姉	2/12(日) 午前8:30	第三教室	2/5 4名
中学生 梅田姉	2/12(日) 午前8:30	第四教室	2/5 5名
キッズ2 小山姉	2/12(日) 午前8:30	第二教室	2/5 3名
キッズ1 芳井姉	2/12(日) 午前8:30	コイノニア ルーム	2/5 5名
Shine 小原姉	2/12(日) 午後4:30	小原宅	1/22 4名
ギデオン 芳井兄	2/25(土) 午後6:30	芳井宅	1/28 2名
カルバリ 野田兄	2/21(火) 午前9:00	野田宅	1/17 7名
神の家族 伊岐見真姉	2/12(日) 午後7:30	LINEで 分かち合い	1/29 2名
ぶどうの枝 成瀬兄	2/12(日) 午後1:30	コミュニティ センター	1/22 5名
恵み 菅原姉	2/19(日) 礼拝後	コミュニティ センター	2/5 4名

前回の証しなど
神が正しい。もう一度求めて祈ろう、向きを変えようと思います。
荒野をさまよっていた。40年もさまよいたくない。向きを変えたい
自分に死ぬことを神様に聞き祈りました。出来なくても情けなくてもいいよと言われた。些細なことから平安をなくしている。神様の声を聞き分けていないから。
知らせてあげなさいと語られ、伝えた。すべて神様が守ってくださったのだと感謝した。イエス様について来て、家族や経済が守られて来たことは本当に感謝なこと。
交わりの時をもちました。

セルリーダーのためにお祈りください。

主は人を通して語って下さる。悔い改めに導かれ感謝します。
食事の交わりしながら、祈りの課題を祈りました。

セルリーダーのためにお祈りください。

正しい事をしていると言いつ聞かせていたけど「愛していない」という思いが与えられた。
恐れがあっても、「いくらでも来い」と前に進んでいくことが大事。

セルリーダーのためにお祈りください。

主のなさることに従おう、主にささげようと前向きに気持ちを切り替えることができた。
悪口によってしまったこと、悔い改めた。

祈って神様に信頼して全て明け渡した。テストで100点取ることが出来た。

イエス様はみんなのために死んでくれたって思ってたけど僕一人のためってわかった。

『また、つぶやいてしまいました。』と気づく度に向きを変えることのできた一週間。
思いやる気持ちも愛もないものだ、自分にばかり目がいつている。とよくわからされた。指摘を受け入れられないことや正しいと思いつ込む心が砕かれますように祈りました。

「行きなさい。」と言われる声がいつもありました。神様が導いて下さったことに感謝。
自分が間違っていることを認められた。イエス様の愛に満たされている。

心のため込むのはよくないね、みんな話せるセルだからと分かち合いました。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈祷会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	2/12(日)	大高愛姉	鈴木千姉	2/16(木)	鈴木千姉
来週	2/19(日)	大高愛姉	岩下渚姉	2/23(木)	鈴木尚姉

祈りの課題

- 人々の救いを覚えて
 - 家族知人をキリストへ
 - 教会近隣の人々の救い
 - 東海地方の救いのために
 - 日本の救いのために
 - 世界の救いのために
- 働きを覚えて
 - バイブルスタディの働き
 - リバイバルクワイヤーの働き
 - リバイバルマズの働き
 - 那古野アウトリーチの働き
 - 祈祷会の祝福
 - 日曜礼拝の祝福
 - 牧師の働き
- ギデオン協会の働きのために
- セルグループの祝福
 - LIG人生変革グループの祝福
- プレーヤーハウスの祝福のために

聖日礼拝	(日曜)	(第一)	午前 10:00~11:30
キッズセル(子供礼拝)	(日曜)		午前 8:30~9:50
日曜礼拝バイブルスタディ	(日曜)		午前11:45~午後1:00 ☆礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ	(第1、第3火曜)	(昼)	午後 1:00~ 2:30
		(夜)	午後 7:00~ 8:30
祈祷会	(木曜)		午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷	(木曜)		午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1437
2023年2月12日(日) 発行 2月第2週

私たちのビジョン (使徒の働き11:21) 主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝
開始 10時
開始 13時30分(浜松礼拝)

- 讚美
- 祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- 聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- 讚美
- メッセージ
- 祈り
- 神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- 自由献金 (今日は、プレーヤーハウスのための献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 連絡

お願い
(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ わたしは主、あなたをいやす者である。(出エジプト記15章 26節) **【いやし】**
新改訳第3版

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ
〒451-0012 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「ルカ7：47 ですから、わたしはあなたに言います。この人は多くの罪を赦されています。彼女は多く愛したのですから。赦されることの少ない者は愛することも少ないのです。」

シモンの家でのできごと

冒頭のみことばは、イエス様がパリサイ人シモンの家に招かれたときのできごとです。彼らが食卓についているところに、一人の罪深い女が入ってきて、イエス様の足元に座り込みました。彼女は激しく泣いていましたが、その涙でイエス様の御足をぬらし始め、髪でそれをぬぐいました。そして、主の足に何度も口づけをし、持ってきた香油を塗りました。シモンは「この人がもし預言者だったら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っているはずだ。（ルカ7：39）」と心の中で思いました。すると、イエス様は彼に一つのたとえ話を話されました。それは、ある金貸しから、500デナリの借金をしている人と、50デナリの借金をしている人の話です。二人とも返すことができなかったため、金貸しは二人とも借金を帳消しにしてあげました。話された後、イエス様はシモンに、「二人のうちのどちらが、金貸し

をより多く愛するようになるでしょうか。（同42節）」と言われました。シモンが「より多くを帳消しにしてもらったほうだと思います（同43節）」と答えると、イエス様は「あなたの判断は正しい（同43節）」と言われました。そして、罪深い女がご自分にされたことをほめられて、「この人は多くの罪を赦されています。彼女は多くを愛したのですから。赦されることの少ない者は、愛することも少ないのです。（同47節）」と言われました。シモンはイエス様を招いておきながら、主の御足を洗うことも、口づけすることも、頭に油をぬることもしていませんでした。

罪深い女とシモン

罪深い女は苦しみの中で生きてきました。彼女は娼婦しょうぶでありましたが、おそらく貧しさゆえのやむを得ない生き方であったことでしょう。心の片隅にはいつも「こんなことをしてはいけない」という罪責感がありました。人々からも冷たい目で見られ、だれからも相手にされず、みじめで孤独な生活をしていました。そんな中で、彼女はシモンの家に来る以前にイエス様に会い、罪の赦しをいただいたのでした。そして罪赦されたうれしさのあまり、どうしても感謝の気持ちを伝えたくて、人目もはばからずにシモンの家に入ってきました。そして、彼女ができる精一杯の感謝と愛をイエス様にささげたのでした。

一方、シモンはパリサイ人であり神の律法を厳守していまし

た。罪の悔い改めもしていたでしょう。しかし彼は、自分がそれほど罪深いと思っていませんでした。むしろ自分は正しく、落ち度はないと思っていました。ですから彼はイエス様を歓迎することもありませんでした。彼は「赦されることの少ない者」であったゆえに「愛することの少ない者」でありました。

多くの罪が赦された

イエス様のたとえ話に出てくる500デナリというお金は、今に換算すれば500万円くらいのお金です。普通の給料では返済できない金額です。そんな多額の借金を帳消しにしてもらった人の喜びはどんなに大きなものであったのでしょうか。もう毎日取り立てに追われることもありません。不安や心配からも解放されて、夜もぐっすり眠れるようになったことでしょう。そして彼をあわれんでくれた金貸しに、一生感謝し続けたことでしょう。一方、50デナリの借金も、もちろん帳消しにされればうれしいに違いありません。しかし500デナリの借金に比べれば、人生が変わるほどの喜びではありません。イエス様は「二人のうちどちらが、金貸しをより多く愛するようになるでしょうか。」と言われましたが、答えは明白です。

イエス様のたとえ話で、借金は罪のこと、金貸しは神様です。ここでイエス様が「500デナリ」と言われたのは、だれも返すことのできない借金の額を意味しています。罪赦されて救われた私

たちは、自分では決して返済できない借金を帳消しにしてもらった人です。罪という多大な借金の返済ができなくて苦しんでいたところを、神様がイエス・キリストという尊い犠牲を払ってくださることによって、帳消しにしてくださいました。ですから私たちは、あわれんでくださった神様に、どれだけ感謝しても足りないくらいの感謝をあらわしたいのです。ですからもし今、「愛することの少ない者」であるならば、それは、自分がどれほど多大な罪を帳消しにしてもらったかということを認識していないということではないでしょうか。人は自分がどれだけ大きな罪の借金を抱えている者であるのかを知らなければなりません。

多く赦されているので、多く愛したい

私は救われる前、かたくなに人を愛さないで生きていました。しかし福音を聞き、神様がこの情けないありのままの自分を愛しておられると知ったとき、自分の罪がいかに重大なものであるのかを悟りました。そして悔い改めてイエス・キリストを信じました。救われてからは、赦されたことがうれしくて、自分の持てるものをできるだけ神様に捧げて生きたいと思いました。そして「人を愛したい」と願う者に変えられました。そうして今に至っています。自分がどれだけ多大な罪を赦していただいたのかを知っているため、多く愛したいと願うのです。（鈴木千史）